

『恵み野中央公園を育む会』

第1回恵み野中央公園ワークショップ

「パークセンターのあり方を考えよう！」



本日のワークショップの流れ

- ① 昨年度までのふりかえり
- ② 今年度のワークショップ
- ③ 本日の話し合いの内容について
- ④ パークセンター素案の説明
- ⑤ グループワーク
- ⑥ グループ発表
- ⑦ 本日の話し合いのまとめと次回のアナウンス

① 昨年度までのふりかえり

恵み野中央公園を考える会

令和5年度
第1回～3回ワークショップ

- ・事業概要、ワークショップ目的の把握
- ・現況の問題点や課題点の共有
- ・改修に向けた基本的な考え方の共有

令和6年度
第4回～7回ワークショップ

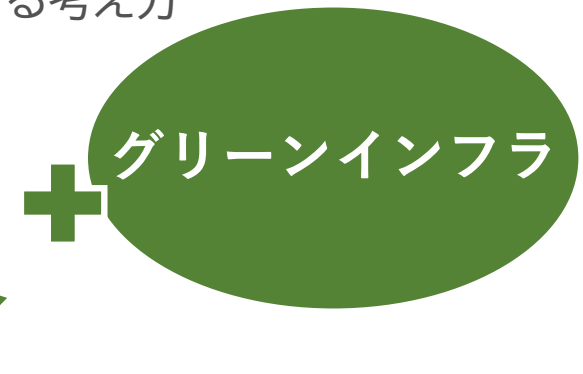
- ・施設改修内容の話し合い
- ・改修に向けた“みどり”における話し合い
- ・改修計画内容の共有

昨年度までのふりかえり ～施設改修に向けた基本的な考え方

キーワード

- ◆ 持続可能
- ◆ 恵み野地域を歩いて楽しめる回遊性と相乗効果
- ◆ 恵み野中央公園らしい魅力・特徴の創出
- ◆ 防災に生きる取組み
- ◆ 見る公園から体験する公園へ
- ◆ 生活と文化に根ざす

※自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方



恵み野中央公園の新たな公園像(テーマ)

地域が誇れる“持続可能”な公園づくり

～グリーンインフラによる魅力ある空間創出～

昨年度までのふりかえり ～施設改修に向けた基本的な考え方

基本方針～4つの取組み

◇ グリーンインフラで“憩う”

自然豊かなゆとりある環境や景観を保ちつつ、健康や憩い、安らぎなど地域の生活空間の一翼となる空間づくり

◇ グリーンインフラで“守る”

激甚化する災害に備え、自然環境が有する多様な機能の、ハードソフト両面における活用・啓発の推進

変わらない存在価値
多様化する利用価値



◇ グリーンインフラで“つなぐ”

地域が主体となった植物管理の構築や、官民連携による動植物とのふれあいの場の創出など、新たな地域コミュニティの形成

地域が誇れる“持続可能”な
公園づくり

◇ グリーンインフラで“呼び込む”

魅力的な空間を創出するとともに、周辺施設との相互利用を促進し、賑わいと活気に満ちた公園の実現

昨年度までのふりかえり ～エリア別空間イメージ

『静的なエリア』の導入施設(空間)

- ・駐車場の充実と公園利活用の拠点となるパークセンターの新設
- ・池を安全に鑑賞できる憩いの空間
- ・池の生態系を学べるサイン施設の充実

(環境学習)

- ・図書館との一体的な利用
- ・SDGsへの取り組み→資源の循環など
- ・多目的広場は従来のイベントもできる空間
- ・遊具に頼らない、自然を活かした遊び空間(プレーパーク)

『静的なエリア』

- ・学びの空間
- ・憩い・ふれあい・鑑賞など

『動的なエリア』

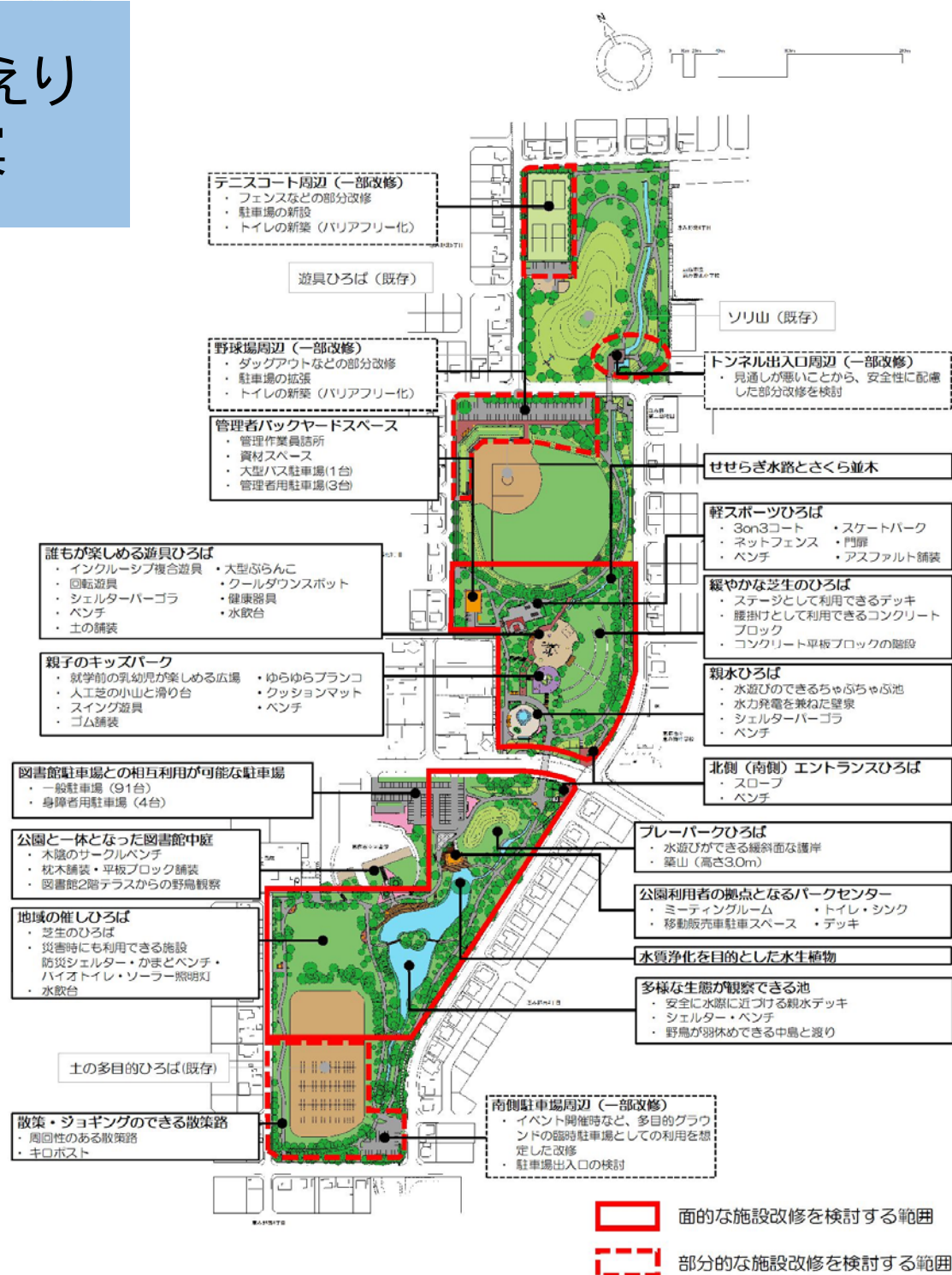
- ・アクティブな空間
- ・遊び・スポーツ・観光などによる賑わいを創出

『動的なエリア』の導入施設(空間)

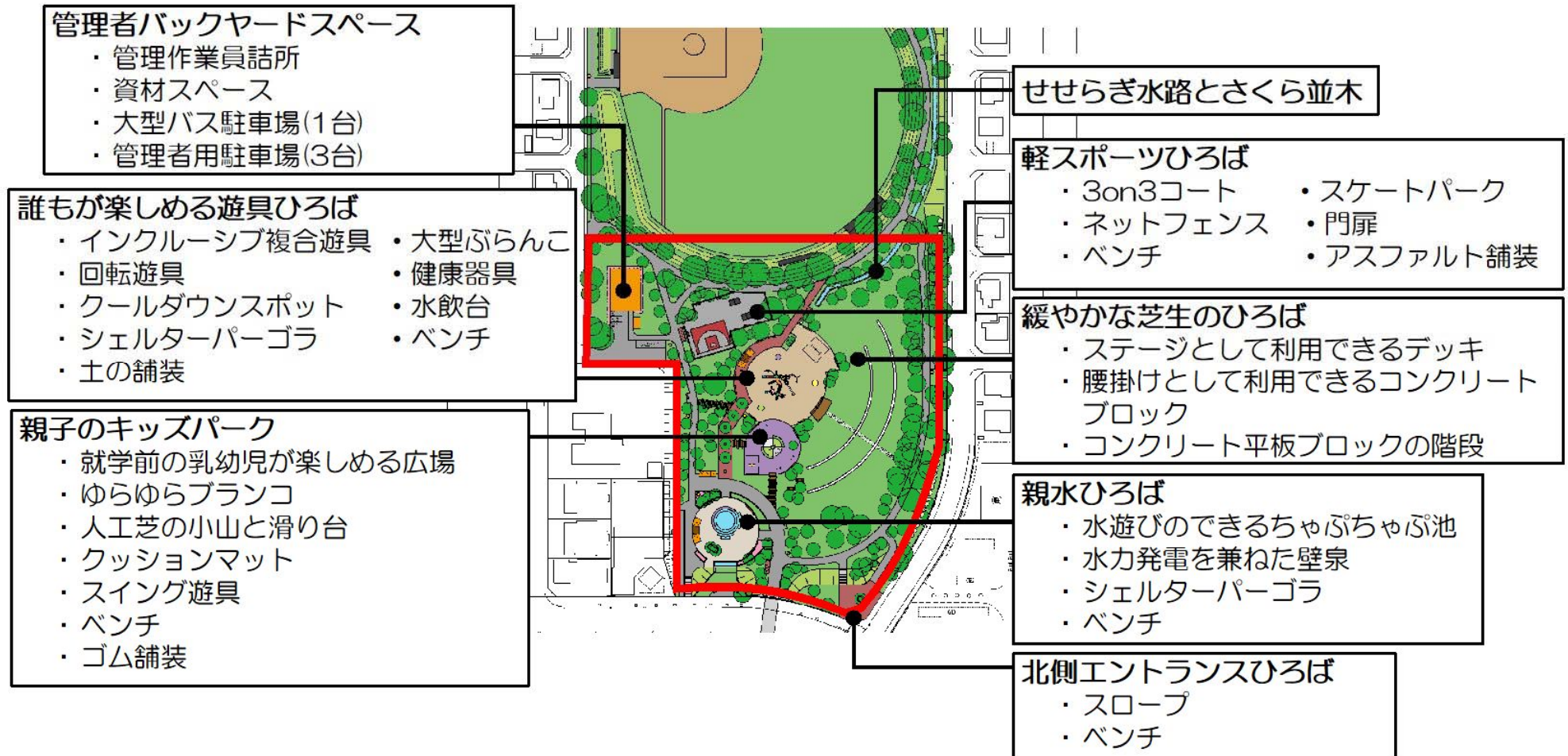
- ・幼児から高齢者まで楽しめる空間
- ・ストリートスポーツ(3on3)
- ・様々な使い方ができる芝生の広場
- ・安心して利用できる親水空間
- ・屋根のある休憩施設の充実



昨年度までのふりかえり 公園全体の計画案



昨年度までのふりかえり 北側エリアの面的な改修計画案



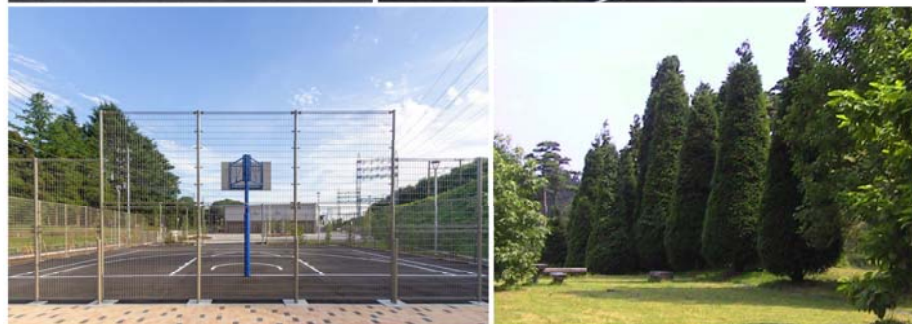
昨年度までのふりかえり 北側エリアの主な広場イメージ



誰もが楽しめる遊具ひろば・キッズパーク



親水ひろば

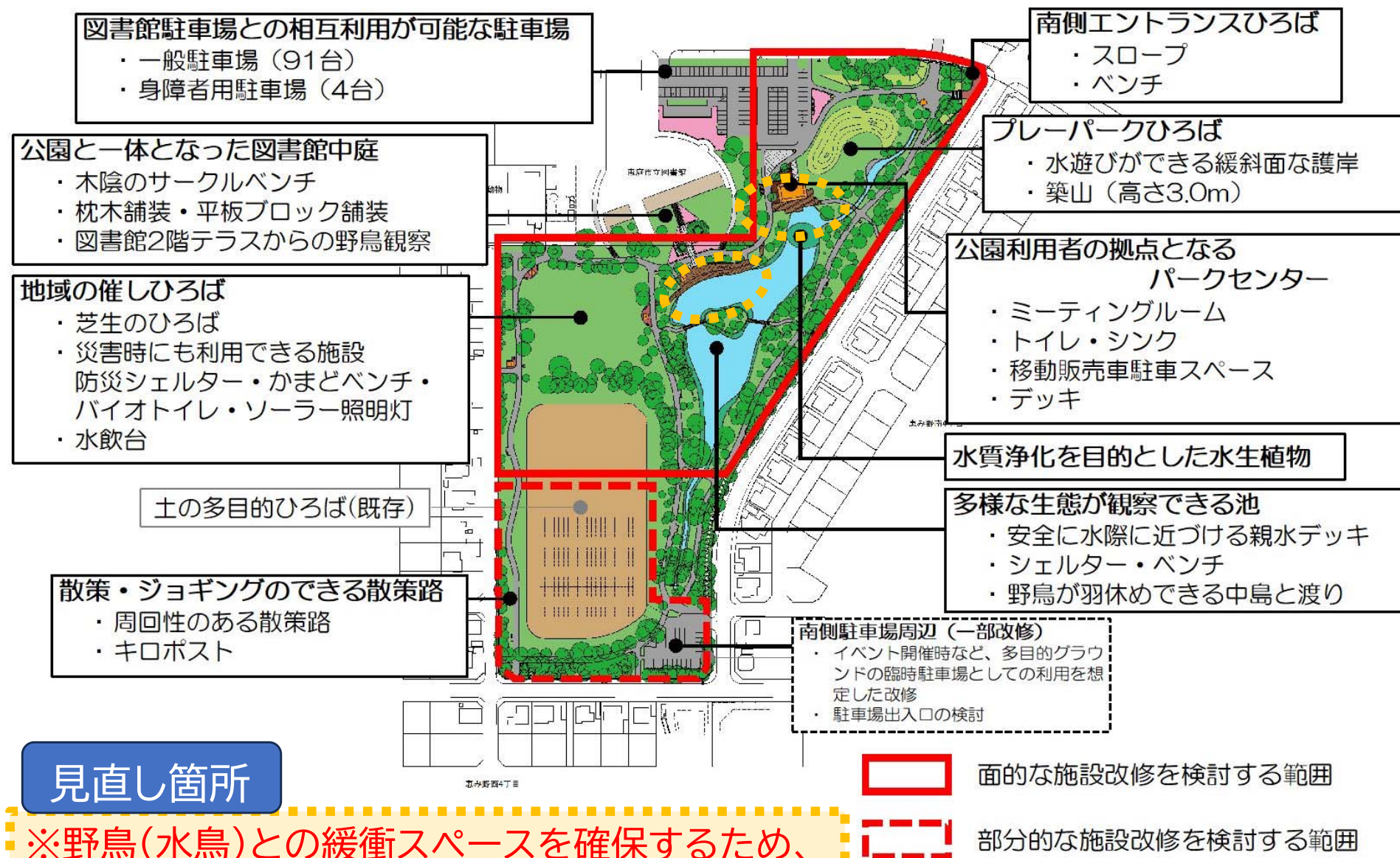


軽スポーツひろば



散策路・サクラ並木・流れの景観

昨年度までのふりかえり 南側エリアの面的な改修計画案



昨年度までのふりかえり 南側エリアの主な広場イメージ



池部親水デッキ

※野鳥(水鳥)の保護の観点からデッキは池の水際部より5m程度セットバックを検討中



プレーパークひろば



パークセンター



② 今年度のワークショップ

恵み野中央公園を考える会 (令和5年度～6年度)

ソフト面を視野に入れた
ハード(施設整備)の話し合い

- ・新たな公園像(テーマ)及び基本方針の設定
- ・多様化する市民(地域)ニーズに即した施設整備

昨年度までに整理された計画内容を踏まえ、より親しまれる
公園として**市民との協創**による運営管理を考える！

恵み野中央公園を**育む会** (令和7年度～)

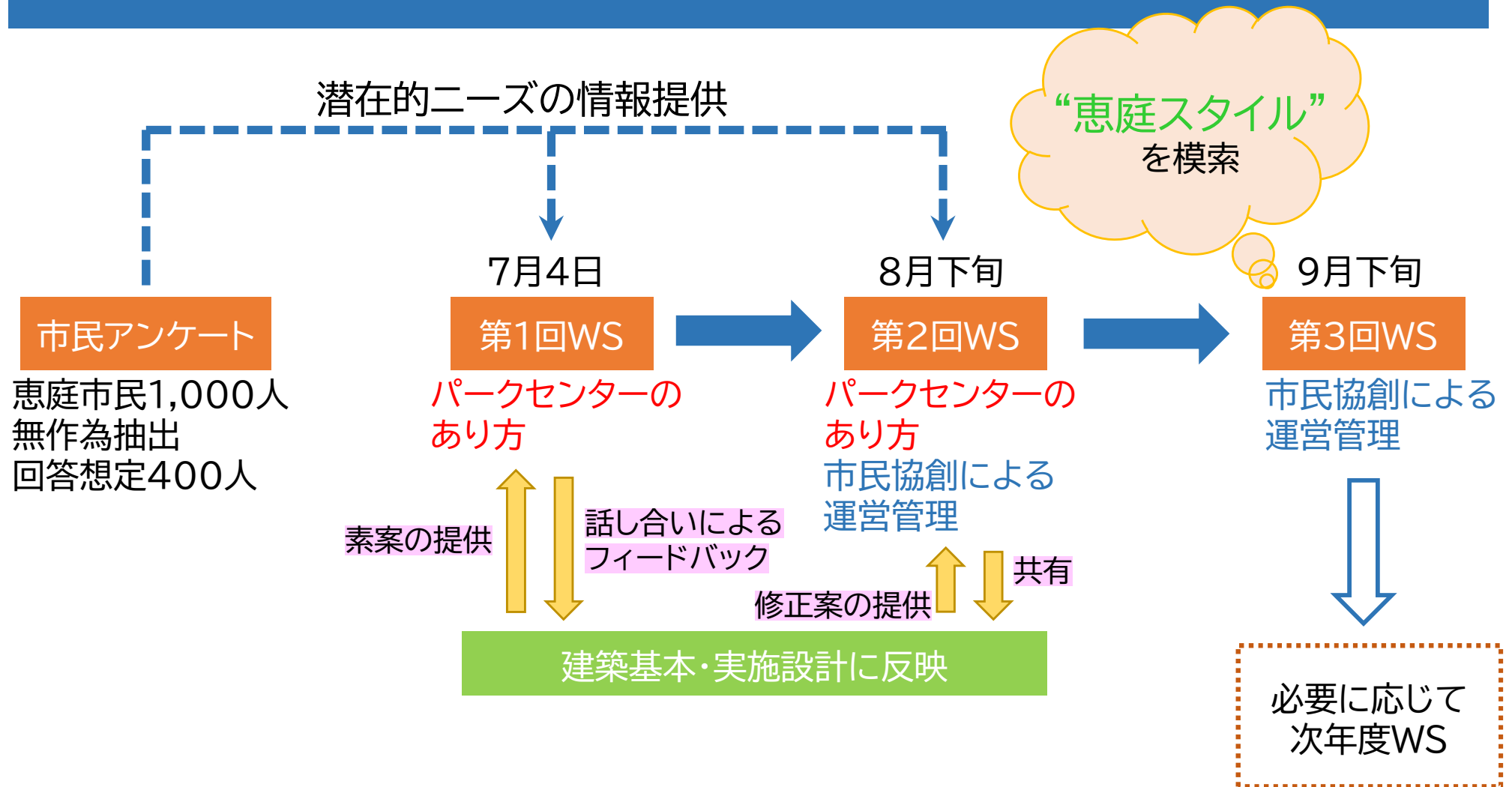
ソフト(利活用・運営管理)
の話し合い

- ・中央公園の中核施設となるパークセンターのあり方について
- ・市内の核となる公園との連携・ネットワーク化を見据えた市民協創による運営管理の可能性

今年度のワークショップの流れ

令和7年度 (育む会)	第1回 ワークショップ (7月4日)	・パークセンターのあり方(役割や機能・ 導入施設内容)について ・運営上の課題の抽出について
	第2回 ワークショップ (8月下旬予定)	・パークセンターの計画内容の共有 ・市民参加型の運営管理に向けた話し合い
	第3回 ワークショップ (9月下旬予定)	・市民参加型の運営管理に向けた話し合い

今年度のワークショップのフロー



③ 本日の話し合いの内容について

パークセンターのあり方について話し合います！！

【昨年度のワークショップを踏まえた基本的な考え方】

○ 機能・位置づけ(管理作業詰所との分離)

- ・パークセンターは、公園利用者がさまざまな体験や活動の支える施設とする
- ・管理作業詰所は、北側エリアに新たに設けるものとする

○ 配置場所

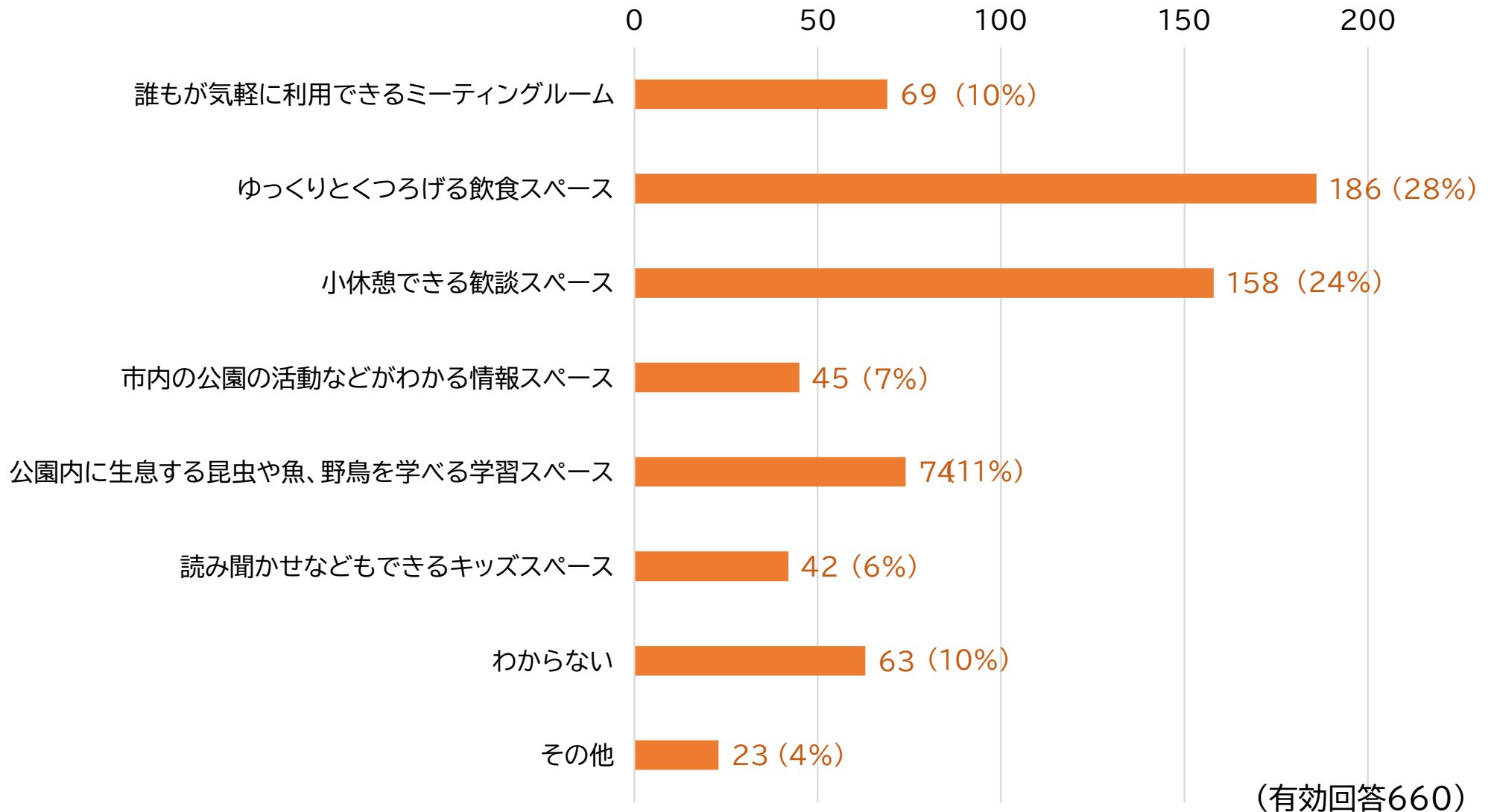
- ・公園内を四方見渡せつつ、多様な活動がしやすい公園内側(池周辺)に配置
- ・誰もがアクセスしやすいよう、駐車場からの距離にも配慮する

○ その他

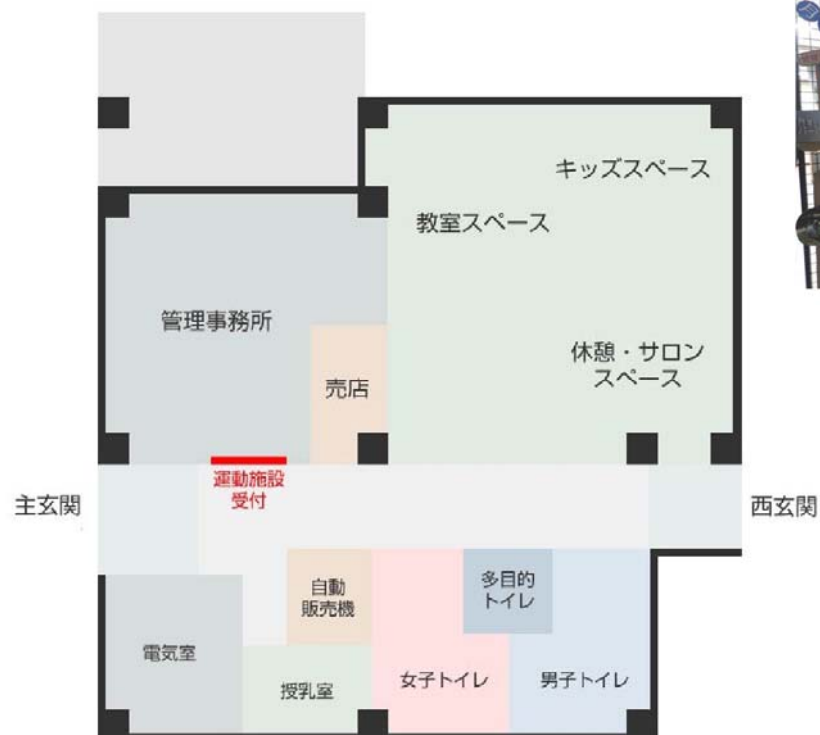
- ・池及びプレーパークひろば側にはデッキを設け、気軽な出入りが可能
- ・キッチンカーの駐車スペースを確保→利用者の飲食購入・収益

市民アンケートでの潜在的なニーズ

パークセンターではどのような空間や施設ができれば良いと考えますか。（2つまで）



他都市の事例 月寒公園パークライフセンター(札幌市)



主な施設

- ・キッズスペース
- ・休憩・サロンスペース
- ・教室スペース
- ・トイレ・授乳室
- ・売店・自動販売機
- ・受付(管理室)・倉庫

他都市の事例 北彩都ガーデンセンター(旭川市)



主な施設

- ・体験学習室
- ・小研修室
- ・トイレ・授乳室
- ・売店・自動販売機
- ・受付(管理室)
- ・更衣室・倉庫

他都市の事例 シーパスパーク パークセンター(大阪府泉大津市)



主な施設

- ・ワークショップスペース
- ・多目的ルーム
- ・トイレ・授乳室
- ・更衣室・倉庫
- ・受付(管理室)

④ パークセンター計画素案の説明

日常時及び災害時における
パークセンターのあり方を考えよう！

④ パークセンター計画素案の説明

1. パークセンターの概要、イメージ
2. 平常時と災害時の利用方法
3. 計画案について

④ パークセンター計画素案の説明

1. パークセンターの概要、イメージ
2. 平常時と災害時の利用方法
3. 計画案について

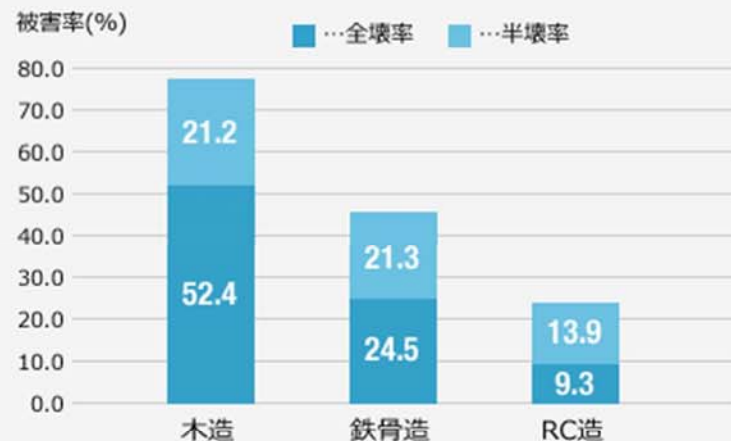
パークセンターの概要、イメージ

基本方針

■ 安心安全な建物であるため**構造計画**

工法は、木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造などが考えられるが、耐震性・耐久性に優れる**鉄筋コンクリート造**にて検討を行う。

阪神・淡路大震災（1995年）兵庫県神戸市灘区の建築物構造別被害



- RC造は引張り・圧縮力の双方に強い性質を持つことで、横揺れやねじれの力にも耐えられるため、耐震性が高いと言えます。
- 過去の大地震でも木造・鉄骨造と比較して全半壊等の致命的な被害が圧倒的に少なかったという実績があります。



- RC造は津波にも強く、2011年の東日本大震災では津波による壊滅的な被害を受けた市街地でRC造の建物だけが耐えた光景が多数見られました。

パークセンターの概要、イメージ

設計コンセプトについて

大開口部を池に面する南面に設け、ダイナミックな眺望が得られるようにする。



パークセンターの概要、イメージ

設計コンセプトについて

池側にデッキを設け、屋内と屋外との連続性を持たせ、自然とのふれあいを楽しめるものとする。



パークセンターの概要、イメージ

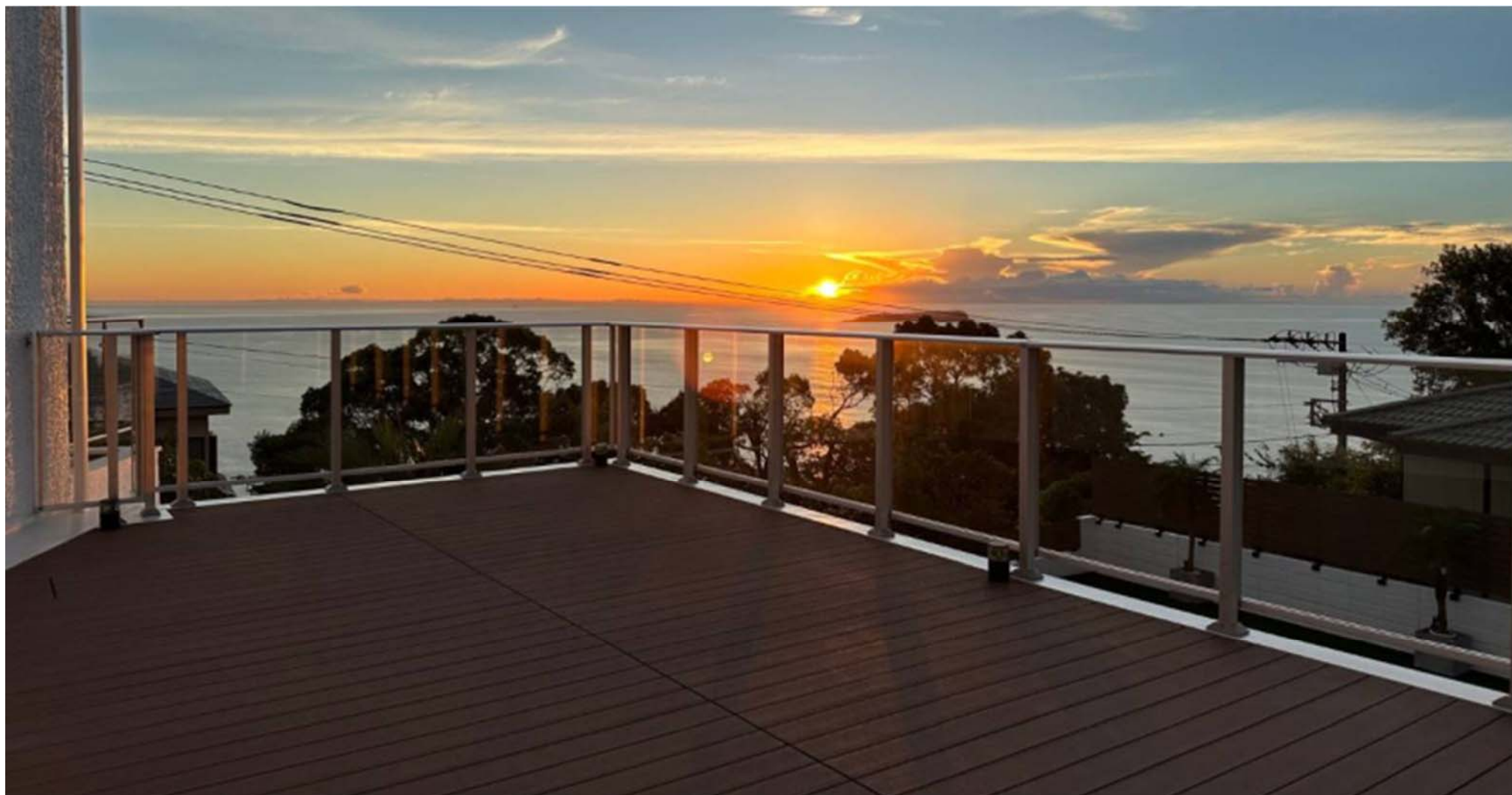
設計コンセプトについて

深い庇を設け、太陽高度が高くなる夏期は日射を遮蔽し、高度が低くなる冬期は日射を取り入れる。



パークセンターの概要、イメージ 設計コンセプトについて

屋上には展望デッキを設け、休憩利用やバードウォッチングができるものとする。



パークセンターの概要、イメージ

設計コンセプトについて

屋上には**展望デッキ**を設け、**休憩利用**や**バードウォッチング**ができるものとする。



パークセンターの概要、イメージ

設計コンセプトについて

エントランス広場では、キッチンカーによる多種多様な軽飲食物の提供。



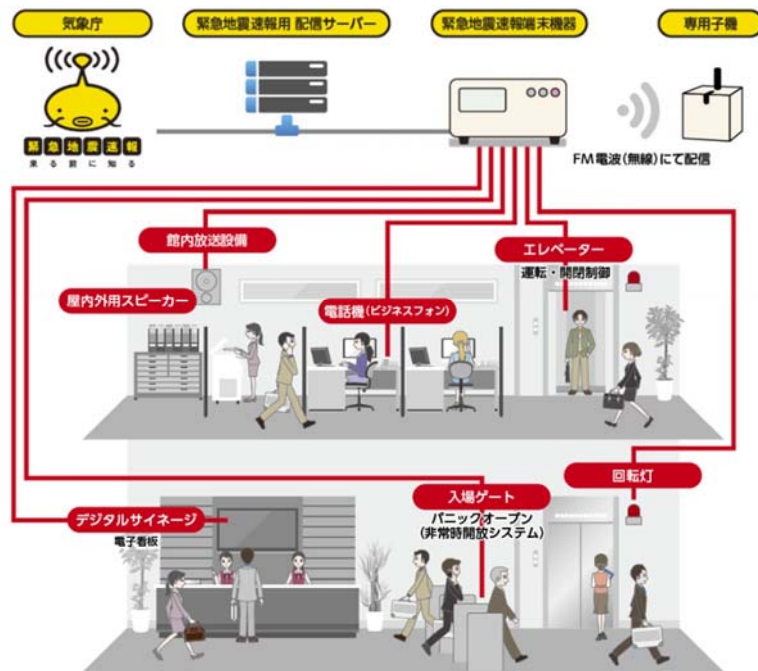
④ パークセンター計画素案の説明

1. パークセンターの概要、イメージ
2. 平常時と災害時の利用方法
3. 計画案について

平常時と災害時の利用方法

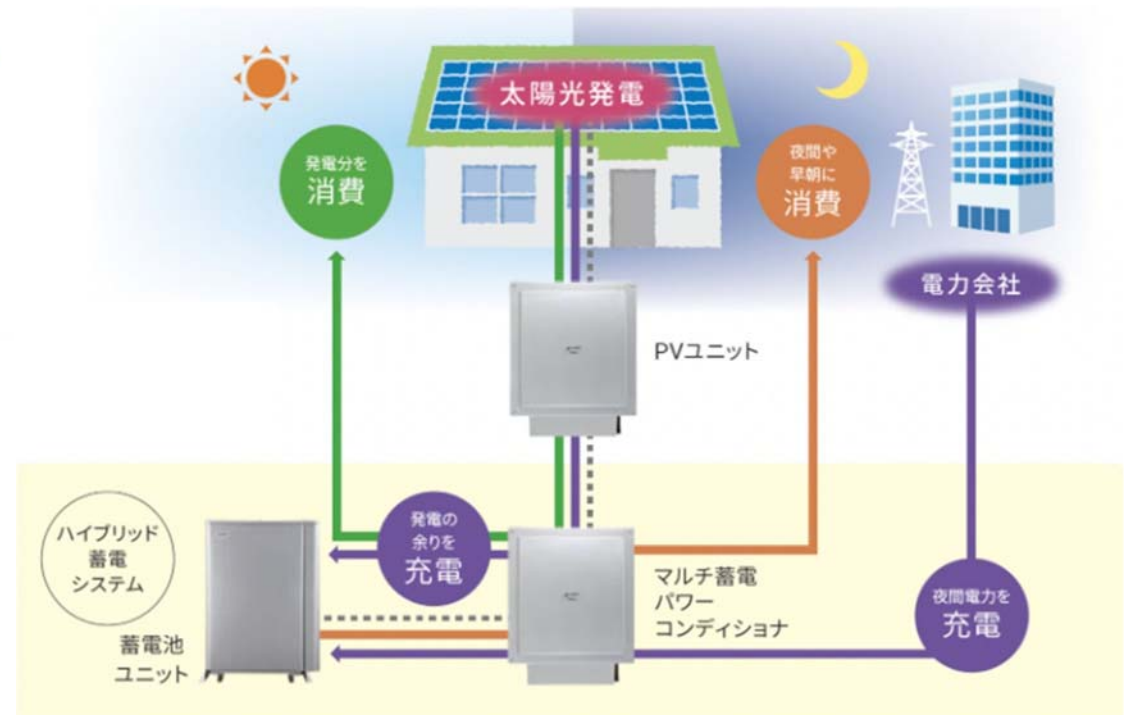
地震時

緊急地震速報端末機器と設備連動イメージ図



出典:(株)アース・キャスト

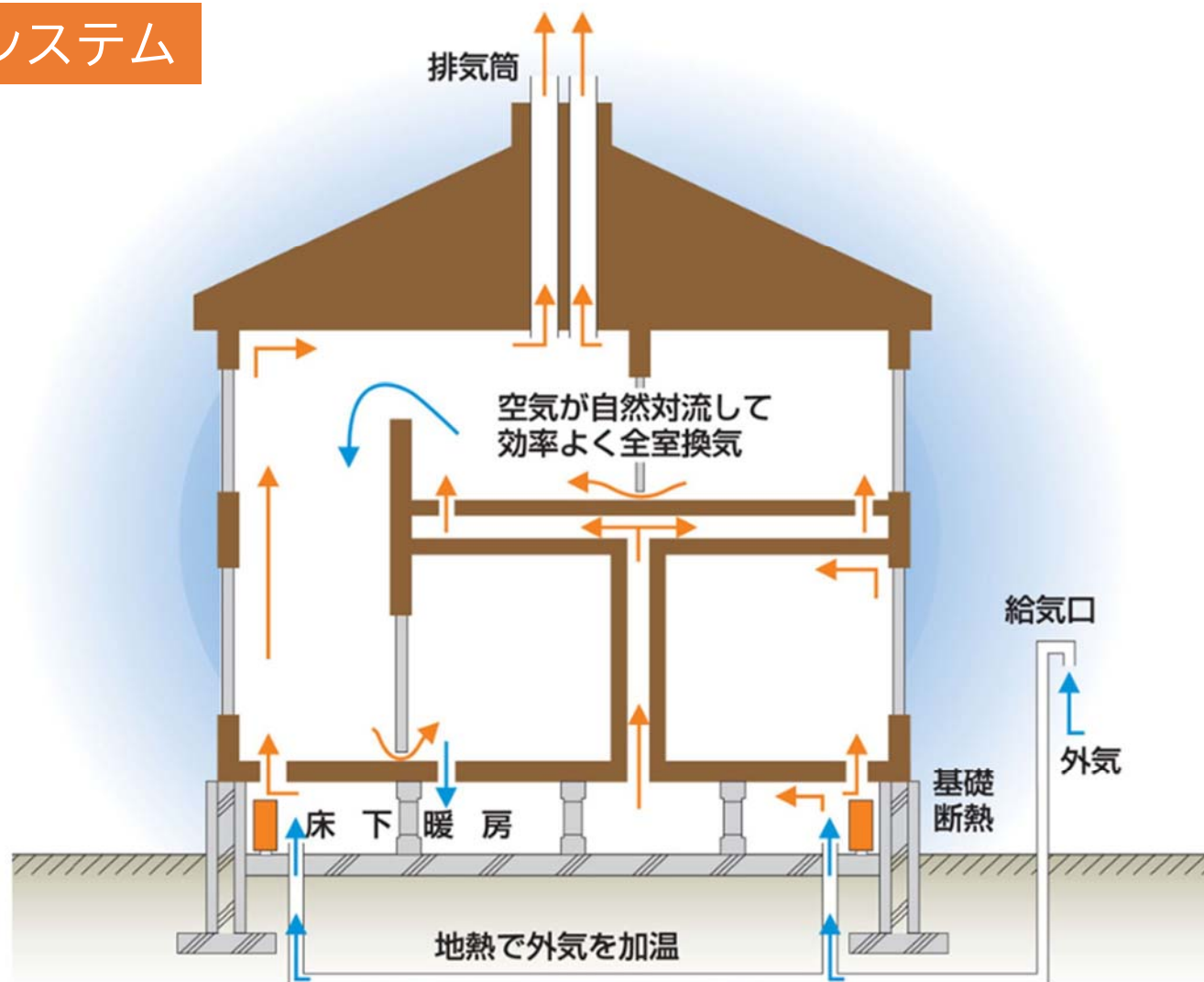
停電時



出典:オムロン ソーシャルソリューションズ(株)

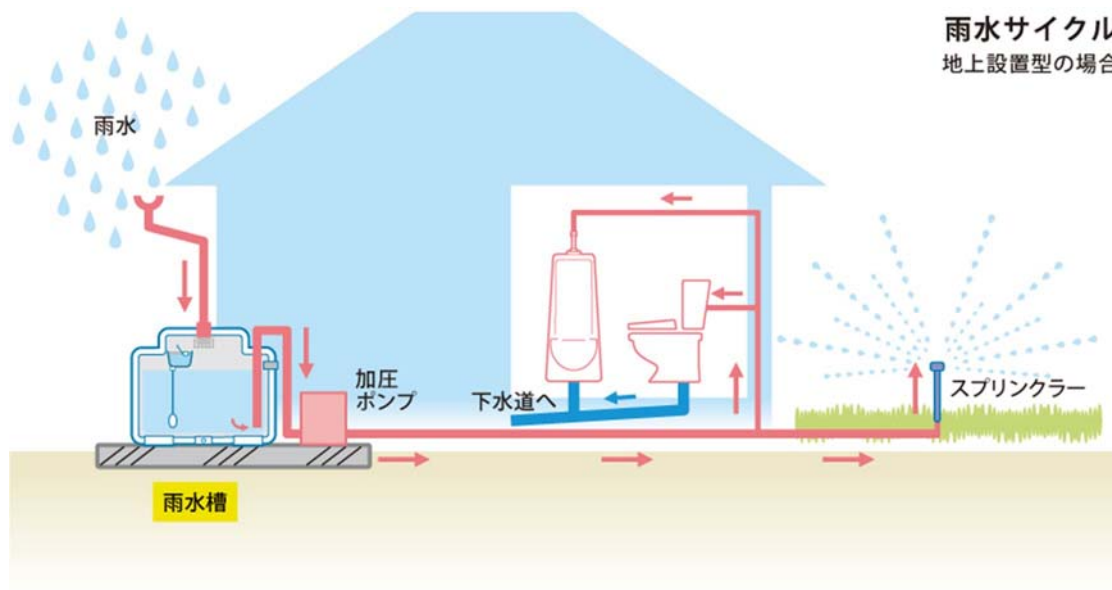
平常時と災害時の利用方法

自然換気システム

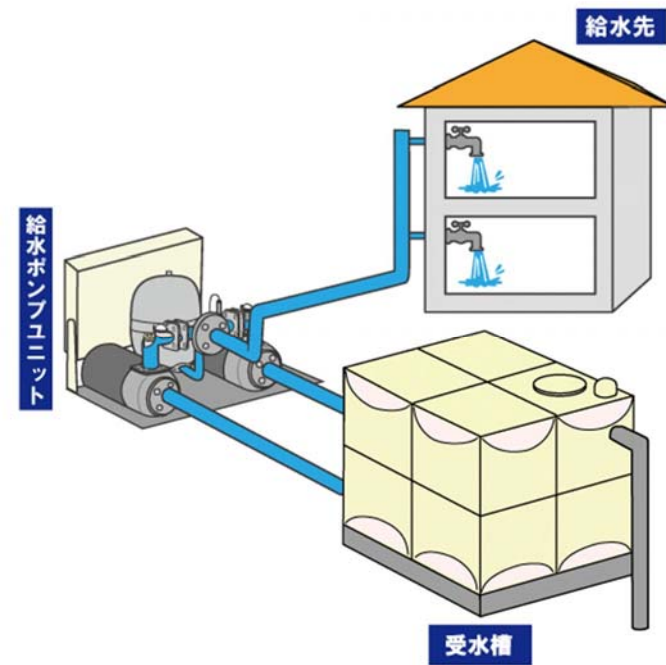


平常時と災害時の利用方法

断水時



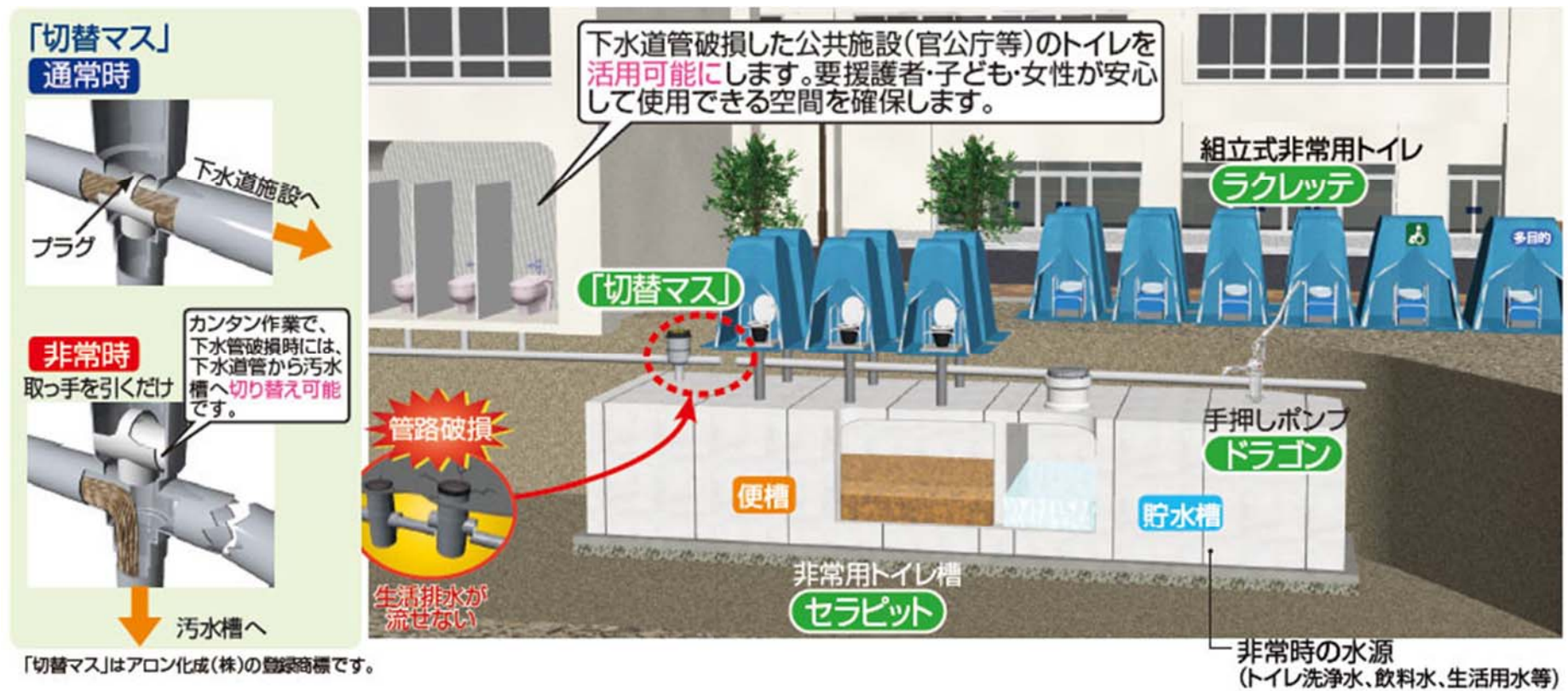
出典: ダイワ化成(株)



出典: FCサービス(株)

平常時と災害時の利用方法

下水管破損時



出典: バルテクス(株)

平常時と災害時の利用方法

ZEBへの取り組みとして、ZEB orientedより1ランク高い基準であるZEB Ready (BEI ≤ 0.5) 達成に取り組む。

脱炭素社会の実現に向け、官庁施設整備においてZEB化を推進！
～「官庁施設的环境保全性基準」を改定しました～

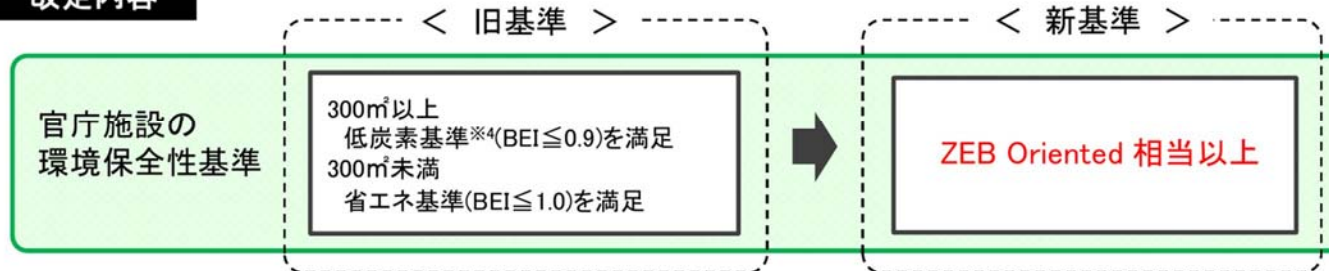
令和4年3月28日

国土交通省では、官庁施設の計画・設計に適用する「官庁施設的环境保全性基準」を改定し、官庁施設が確保すべきエネルギー消費性能として、政府実行計画※1に基づき、新築する場合は原則ZEB Oriented相当以上※2とすることを規定しました。
本基準は、令和4年4月1日から適用します。
なお、本基準は、国の各府省庁が共通して使用する「統一基準」として位置付けられています。

改定のポイント

改定前の「官庁施設的环境保全性基準」では、事務庁舎を新築する場合に、延べ面積に応じて、一次エネルギー消費性能を「省エネ基準」(BEI※3 ≤ 1.0)より1割程度高い水準(BEI ≤ 0.9)とすること等を規定していました。
今般、政府実行計画の改定を踏まえ、一次エネルギー消費性能を、新築する場合は原則ZEB Oriented相当以上とする改定を行い、官庁施設整備においてZEB化を推進します。
基準本文は、国土交通省ホームページをご参照ください。
https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000018.html

改定内容



※1 政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画(R3. 10. 22)

※2 ZEB は、Net Zero Energy Building の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。エネルギー収支の状況に応じて、『ZEB』、Nearly ZEB、ZEB Ready 及び ZEB Oriented の 4 段階が定義されている。

「ZEB Oriented 相当以上」は、以下の式で表される。

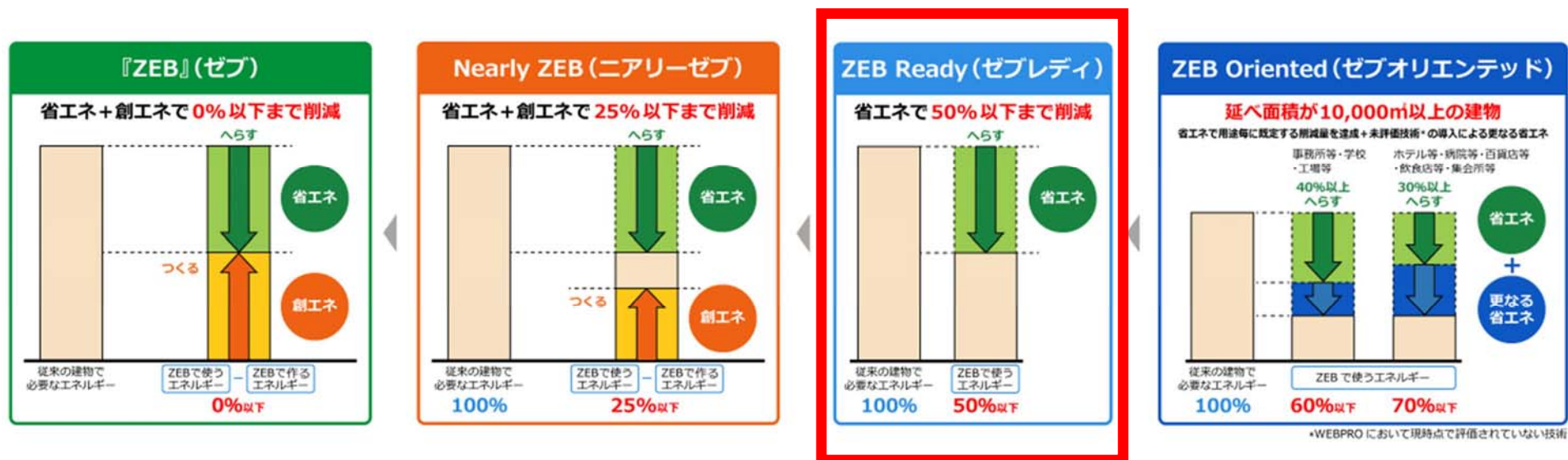
- ・事務所等、学校等、工場等 : BEI (再生可能エネルギーによる削減量を含めない) ≤ 0.6
- ・上記以外 : BEI (再生可能エネルギーによる削減量を含めない) ≤ 0.7

※3 $BEI = \frac{\text{設計一次エネルギー消費量(空調、換気、照明、給湯、昇降機)の合計} - \text{エネルギー効率化設備(再生可能エネルギー等)による削減量}}{\text{基準一次エネルギー消費量(空調、換気、照明、給湯、昇降機)の合計}}$

※4 「建築物に係るエネルギーの使用の合理化の一層の促進その他の建築物の低炭素化の促進のために誘導すべき基準」に示す建築物に係るエネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準

平常時と災害時の利用方法

ZEBへの取り組みとして、ZEB orientedより1ランク高い基準である**ZEB Ready (BEI ≤ 0.5) 達成**に取り組む。



出典:環境省

平常時と災害時の利用方法



出典:環境省

④ パークセンター計画素案の説明

1. (仮称)パークセンターの概要
2. 平常時と災害時の利用方法
3. 計画案について

計画案について



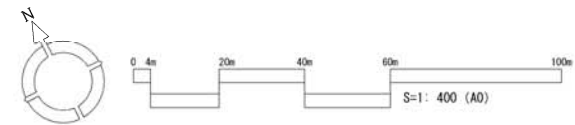
セイコーマート恵み野北店
建築面積:約230m²

計画案について

内観規模のイメージについて

計画諸室	想定面積	通常時	災害時
風除室	約10m ²	風・雨・雪等 緩衝スペース	
ホール	約70m ²	交流・休憩スペース	生活スペース
集会室	約50m ²	交流・会議スペース	生活スペース
事務室	約20m ²	管理者スペース	
男子、女子、多目的トイレ	約30m ²	トイレスペース	
授乳室	約5m ²	授乳、おむつ替え、着替えスペース	
備蓄倉庫	約30m ²	備蓄品収納スペース	
機械室	約15m ²	設備スペース	
			合計 約230m ²

計画案について



建設予定位置



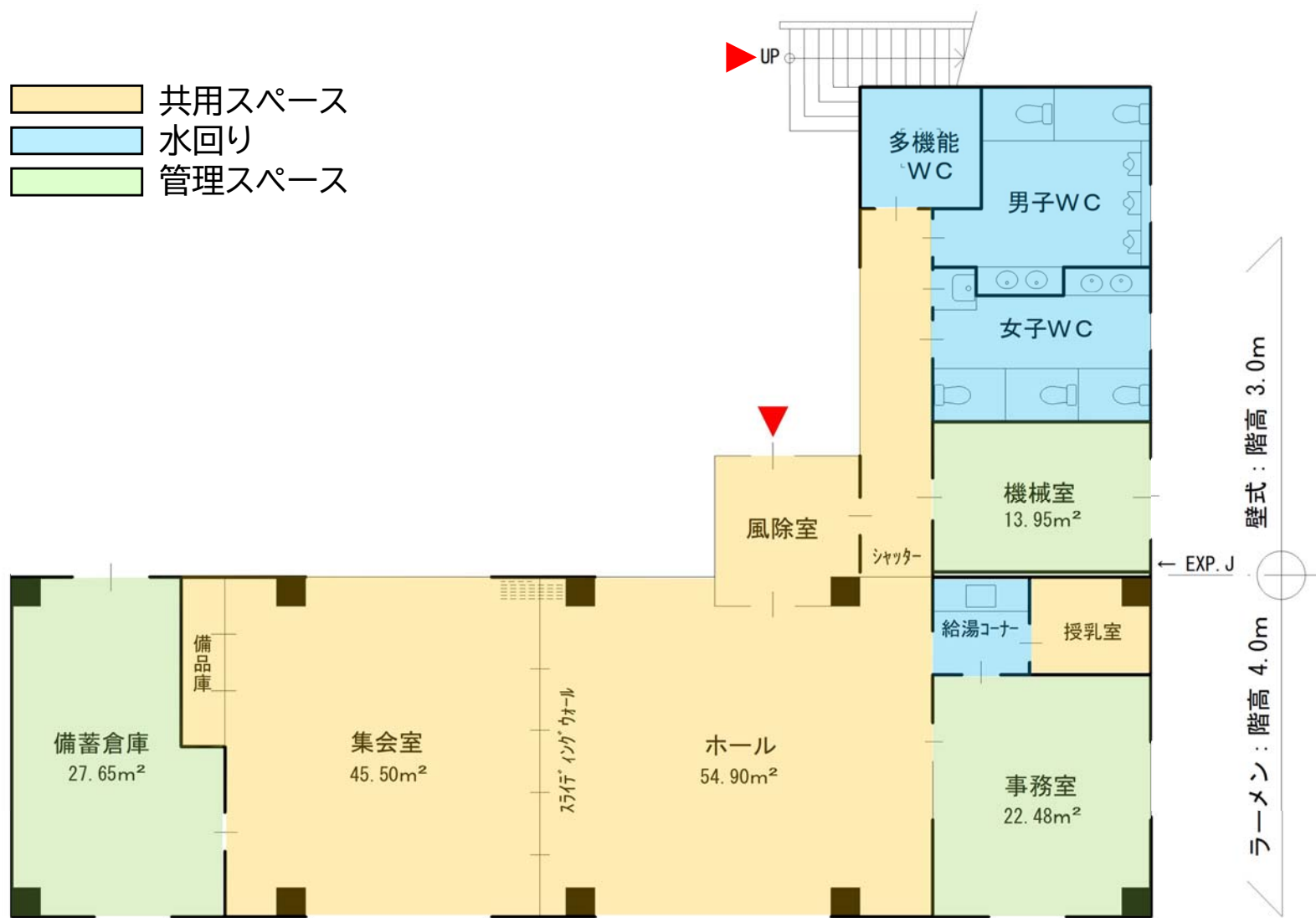
計画案について

配置図(案)



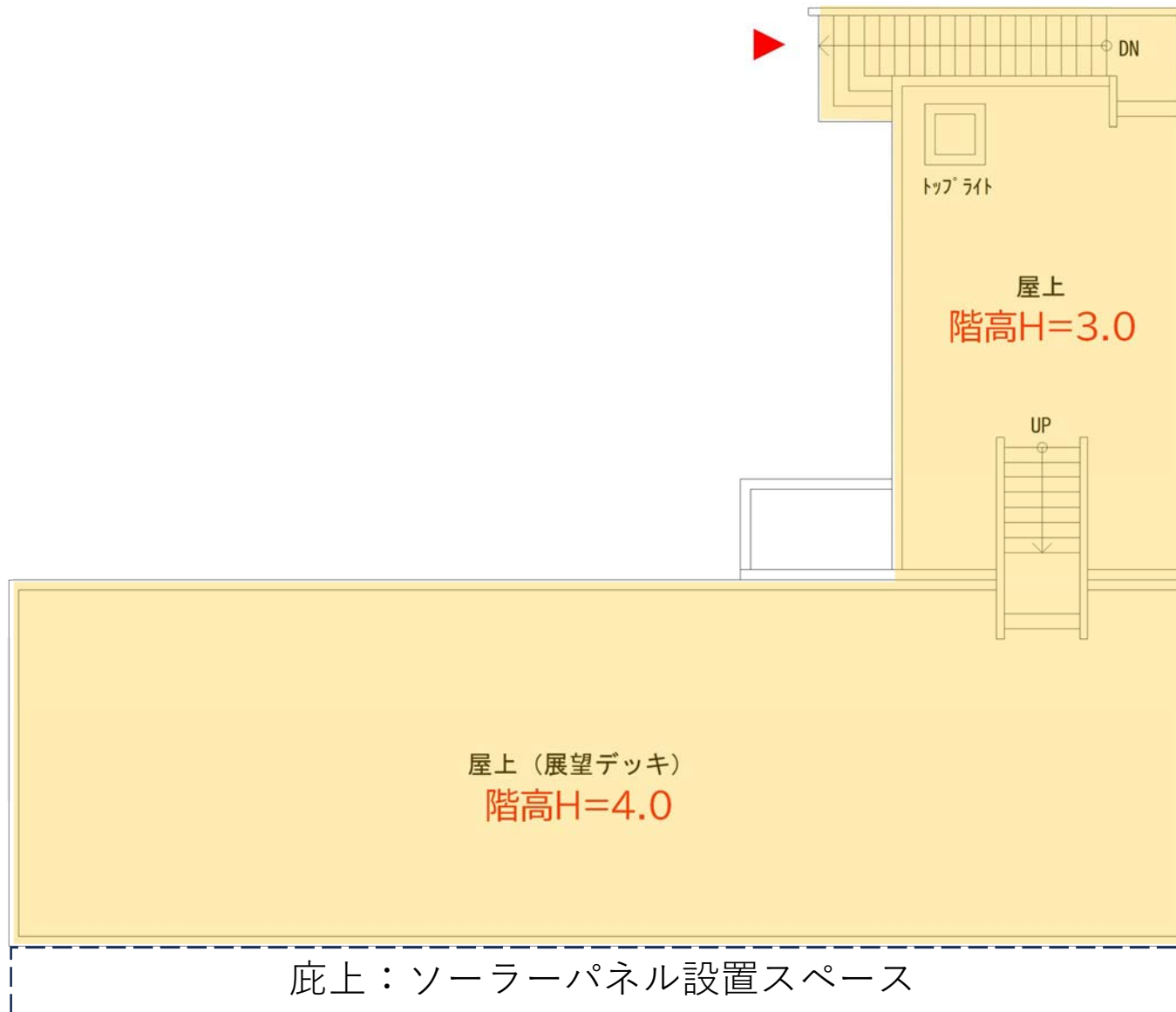
計画案について

平面図(案)



計画案について

屋根伏図(案)



グループワークの内容



パークセンターのあり方(運用方法)について

公園の利活用を推進するために、
整備するパークセンターは、
どのような要素が考えられるか
(平常時・災害時)

役割・位置付け

機能

施設

パークセンターを起点とした公園の利活用を考える。

そのためには、どのような要素(役割や機能、施設)が求められるか。

公園利用者のみ？利用時間？常駐管理？冬期利用？そのために必要な施設？

【公園利用者】・【運営者】・【管理者】それぞれの視点で考える。

運用上の課題の抽出及び解決方法について

建物において
考えられる課題と解決方法

建物以外の公園全体
において考えられる
課題と解決方法

維持管理方法

コスト

防犯・騒音

災害時対応

人材

計画案について

パークセンターを利活用する
ために、どのような活動が
考えられるか

利用するにあたり、
計画案で見直した方が良い
部分がないか

室面積

間取り

設備・備品

グループワークの内容

公園の利活用を推進するために、
整備するパークセンターは、
どのような要素が考えられるか(平常時・災害時)

建物において
考えられる課題と解決方法

建物以外の公園全体
において考えられる
課題と解決方法

パークセンターを利活用する
ために、どのような活動が
考えられるか

利用するにあたり、
計画案で見直した方が良い
部分がないか

情報提供 フィールドワークショップ (ニホンスズランの植栽)6月22日実施



7 日 月 火 水 木 金 土
2025 6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

2025 8月

9 日 月 火 水 木 金 土
2025 7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 山の日	12	13	14	15 お盆	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6